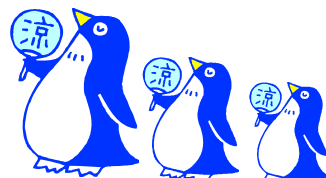


通信 Jul.



もうすぐ夏休みです。長期のお休みでしか出来ないことにチャレンジを！
また起床時間など生活習慣はなるべく変えないで体調をくずさないようにしましょう。
塾では自習OK。事前に申し込みをしてくださいね。

個個港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

小学生：夏休みには課外授業や苦手なところのまとめ

授業など企画しています。詳細はのちほどお知らせします。

中学生：7月21日から随時夏期講習の予定です。
学年によってスケジュールが異なるのでそれぞれお知らせいたします。

高校生：スポット講習で苦手克服のチャンスです。
夏休みだけの短期講習で受講できます。

熱中症に注意！

熱中症は、気温、湿度、風速、輻射熱（直射日光など）が関係します。症状は、◆**熱失神**：めまい、失神、顔面そう白、呼吸回数の増加、唇のしびれ、脈は速くて弱くなる◆**熱けいれん**：筋肉がけいれんしている◆**熱疲労**：大量の汗をかくと、脱水がおこり、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気など◆**熱射病**：意識障害（応答が鈍い、言動がおかしい、意識がない）が特徴で、頭痛、吐き気、めまいなどです。症状が重い場合はすぐに救急車を呼びましょう。熱中症は28℃以上の室内でも起こり、夜間、寝ているときにも起こります。もし熱中症になったら、
①涼しい日陰やクーラーの効いた室内などに移動する。②衣類をゆるめて休む。③氷や冷たい水でぬらしたタオルを手足に当て手、体を冷やす。④水分を補給する。
そして、回復したつもりでも体内に影響が残っていたり、再発のおそれもあります。回復した後でも必ず病院で診



祇園祭

日本の三大祭の一つ祇園祭は、毎年7月1日から1カ月間、京都市内の中心部や八坂神社（東山区）で多彩な祭事が繰り広げられます。平安時代前期、京で疫病が流行した際、広大な庭園だった神泉苑に、当時の国の数にちなんで66本の鉾を立て、祇園の神（スサノオノミコト）を迎えて災厄が取り除かれるよう祈ったことが始まりとされます。応仁の乱（1467-77年）で祭りは途絶えましたが、1500年に町衆の手で再興されました。以後、中国やペルシャ、ベルギーなどからもたらされたタペストリーなどを各山鉾に飾るようになりました。これらの懸装品の豪華さゆえに、山鉾は「動く美術館」とも呼ばれています。現在、巡行に参加している鉾は9基、山は23基。7月10日ごろから鉾建てが始まり、12日ごろには鉾の「曳初（ひきぞめ）」があります。15、16日の宵々山、宵山を経て、17日は、祇園囃子（ばやし）にのって山鉾が京のメインストリー

お知り合い、同級生をご紹介ください。

このチケットをお渡しください。ご優待します。

紹介チケット

在塾生の方にも、特典があります。

あなたのお名前 _____

TEL045-431-6977 個個港学舎

